

# 板橋区役所前診療所グループ 診療所だより 2024年5月号

テーマ：最近注目していること(ひと、物など)はありますか？



医師：島田 潔

やはり、ドジャースの大谷翔平投手と通訳の水原一平容疑者ですかね～。大きなお金が人生を狂わせてしまったのかなあ？



医師：宇仁 淳

物ですが『ドローン』に注目しています。色々な用途での活躍があります。空撮、農業、物流、点検、整備、測量などなど。その他に災害時の危険な場所の把握、土管の中の点検、セキュリティー警備での活用も重要視されています。最近ではドローンショーが綺麗です。AI搭載で無限大の活躍をしてくれそうです。しかし兵器には使用しないでほしいと思います。



医師：藤井 秀樹

注目している物は新NISAです。円安や不景気で暗い中、経済的には唯一明るい話題ではないでしょうか。でも慎重な性格の私はまだ始めておらず、そのうち「みんなが初めて株価が上がってしまったから」と言い訳してやらないのだと思います(笑)。



医師：浅海 直

最近注目していることですが、往診途中で猫に会うことが多くなってきており、以前、コレクションしていた板橋の猫さんの写真を撮ることを再開しております。板橋には平和に暮らしている猫さんが結構いるようです。🐱



医師：伊藤 直

尿管結石になってしまったので、再発予防に興味があります。コーヒーなどに含まれているシュウ酸が原因のようなので、がぶ飲みしていたコーヒーを控えるようにしています。悶絶する痛みにはもうこりごりです。



医師：安井 宏仁

MLB「大谷翔平」選手です。シーズン前に色々ありましたが、やはり活躍する姿を見ると何故か嬉しくなります。



医師：三寺 隆之

大山、十条のグルメに最近興味があります。近々、色々行ってみたいと思います。



医師：御子柴 路朗

最近診療所の情報共有についてどのような方法が良いのかと悩んでいました。この加減でGoogle Workspaceを使った情報共有の方法に注目して情報を追っていることが多いです。



医師：糸山 智

ポスターに注目しています。地下鉄の中で、通路の壁などに貼ってあるポスターです。歩行者に立ち止まってもらう工夫、歩きながらも瞬間的に分かるような文字や絵の配置、印象に残る一言・・・工夫が満載で感心します。



医師：長谷川 大輔

注目は今年も大谷選手ですね。数字はますますのようですが、未だ本調子ではないように見えます。出勤前にニュース速報で元気もらっています。



医師：廣田 大輔

埼玉西武ライオンズの中村剛也選手のホームラン数が気になります。あとはもうすぐ始まるパリオリンピックも気になります。



医師：中山 昇

注目しているのは、医師のGoogleに対する訴訟でしょうか、一億総評論家の状態に一石を投じて世の中が変われば良いなと思います。



# 板橋区役所前診療所グループ 診療所だより 5月号

2024

発行：板橋区役所前診療所  
〒173-0013 東京都板橋区氷川町1-12  
コスモ・ティエース3階  
(都営三田線 板橋区役所前駅A3出口  
養育院と併設)  
TEL 03-5375-9031



## 医療～豆知識～コーナー

今月のテーマ：認知症の周辺症状が、お薬の副作用の可能性もあります 医師：伊藤 直

認知症の患者さんが抱える苦しさには、物忘れなどの中核症状の他に、抑うつや幻覚妄想、徘徊や不穏などの周辺症状があります。

周辺症状は、適切な対処を行えば、コントロールできる場合もあります。

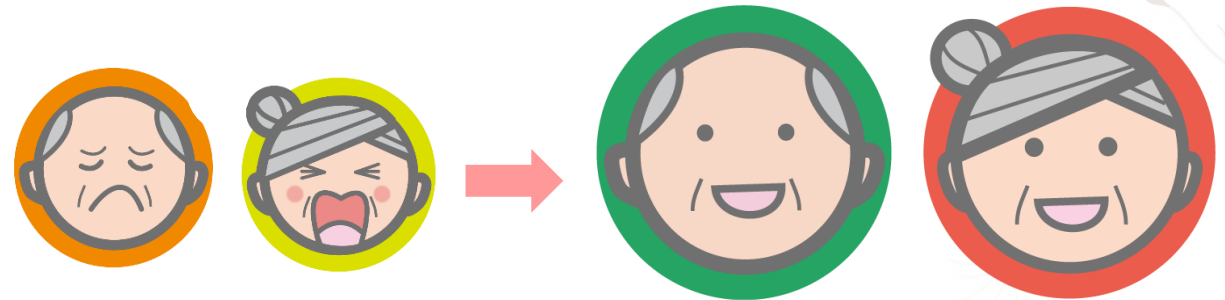
まずは非薬物的介入から始めます。どのような時に周辺症状が出現するのかを介護者が探ります。出現時間や誘因、環境要因などの特徴がわかれば、改善策をとることもできるでしょう。ケアマネージャーさんなどと相談してみるのも良いでしょう。

ただし、それが本当に「周辺症状」なのかも確認する必要があります。

特に、「服用中の薬物の副作用」ではないか確認してください。

激越、攻撃性、幻覚妄想、抑うつ、錯乱、せん妄などの精神症状は、抗認知症薬、H2 ブロッカー、第一世代抗ヒスタミン薬、ベンゾジアゼピン系薬剤、3 環系抗うつ薬などで引き起こされる可能性があります。それらを服薬している患者さんの介護者は、周辺症状と思われるものが薬の副作用である可能性がないか、主治医に確認してください。

患者さん、ご家族、介護スタッフの皆さんが笑顔で過ごせることを願っております。



## ◆◆ 連携室からのメッセージ

### ★当院の連携室体制について

3月に、新人の相談員を1名増員し、合計3名になりました。現在は院内のことを覚えながら、少しずつ電話に出ることも始まりました。まだ不慣れですが、よろしくお願ひします。これまで不在の曜日もあった連携室のアシスタントスタッフも、平日は毎日勤務(2名のうち1名が出勤)体制となりました。これまで以上に、院内外の連携がスムーズにはかれるように努めて参ります。今回は、それぞれのプロフィールを紹介します。

